

令和7年度3月号



まごころ

令和7年3月13日発行
西東京市立田無第三中学校
校長 大久保 順子

教育目標：よく考え進んで実行する人間 思いやりのある心豊かな人間 丈夫な体をつくり心身ともに健康な人間



今年度の御礼と来年度に向けて

校長 大久保 順子

三寒四温の季節となり、春の訪れとともに、今年度の締めくくりの時期を迎えました。

先日の文化発表会では、多くの皆様に生徒たちの学びの成果をご覧いただきました。子どもたちは、大勢の前で発表する経験を通じて大きく成長したと思います。温かいご声援をいただき、心より感謝申し上げます。

先月、2年生はがん教育の一環として、佐々病院の院長先生にご講演をいただきました。がんが身近な病気であることや、予防・早期発見の重要性について学び、健康を維持・向上させることの大切さを実感しました。最後の質問コーナーでは、生徒の「がんになった人にどのように関わったらよいか」という質問に対し、院長先生は『自分が患者さんのためにしたいこと』と『患者さんがしてほしいこと』は違う。その違いを理解して行動してほしい。エンパシー力を大切にしてほしい」とお話しくださいました。

私は、エンパシー力とは、相手の気持ちや立場を理解し、共感しながら適切に対応する力のことだと考えています。相手の心情を想像し、寄り添いながら行動に移すこと。それは、表情や声のトーン、しぐさから気持ちを察し、「この人は今、どんな気持ちだろう」と想像し、相手のために何ができるかを考えることです。そして、困っている人にそっと声をかけたり、励ましの言葉をかけたりすることで、相手が困難を乗り越える手助けをすることなのだと思います。

3月10日には、生徒会主催の全校交流会が開催されました。学年を超えたチームで謎解きなどを楽しみ、普段話す機会の少ない1・2・3年生が自然に打ち解ける姿が見られました。そこには、まさにエンパシー力の基礎が育まれている光景がありました。学校生活においても、授業、休み時間、部活動、そして行事の一つ一つが、互いの気持ちに寄り添い、支え合うエンパシーの積み重ねによって成り立っています。生徒たちはこうした日々の経験を通じて、思いやりの心と協力の精神を自然に身に付けています。

これからも、エンパシー力を大切にした教育活動を推進し、温かく安心できる学びの環境を提供してまいります。この一年間、教育活動へのご理解とご協力をいただきましたことに、改めて深く感謝申し上げます。そして、皆様とともに生徒たちの成長を見守り、支えることができたことを、大変嬉しく思います。これからも、子どもたち一人一人が自信を持ち、夢に向かって歩んでいけるよう、教職員一同努めてまいります。

<3月の予定>

日	曜	行 事	日	曜	行 事
10	月	生徒朝会 笑顔と学びの体験活動プロジェクト (3年) 生徒会行事	19	水	卒業式
11	火	避難訓練 ESAT-J (1年2年)	20	木祝	春分の日
12	水	卒業式予行	21	金	給食終 (1年2年)
13	木	保護者会 (1年)	24	月	大掃除
14	金	保護者会 (2年) 給食終 (3年)	25	火	修了式
18	火	卒業式準備	26	水	春季休業日始

文化発表会

3月7日（金）文化発表会を開催しました。前半は、各学年で生徒の作品（国語、美術、技術・家庭、英語、総合的な学習の時間、美術部、書道部、行事）を見学し、後半は、舞台発表（各学年発表、吹奏楽部）を観覧しました。普段の学習成果を互いに見合う機会は、それほどありませんので、どの学年の生徒も興味・関心をもって見ている様子が印象的でした。



生徒会主催 全校交流会

3月10日（月）生徒会主催で卒業生をお祝いする行事、「全校交流会」を行いました。各学年混合のグループを編成し、謎解きゲームで競い合いました。最初のアイスブレイク（自己紹介）の時間から、みんなで笑顔で話していて、緊張もすぐ打ち解けていました。この行事では、3年生は祝われる立場でしたが、さりげなく在校生をフォローするなど立派な姿が見られました。この卒業生から三中の伝統を受け継いで、来年度も明るい学校づくりに取り組んでほしいと思います。



表彰

西東京市教育委員会表彰 野球部

体力優良生徒

第64回書初め紙上展 金賞

3年

2年